

フォルムアルデヒド、アンモニアから3,5-ジアセチル 1,4-ジヒドロルテジンは黄色の環状化合物を生成せしめこれを比色するのであるがわれわれは抽出をイソプロパノールで行い吸着剤の内容を変えカラムを使わず抽出液に直接吸着剤を加えミキサー上で激しく振盪混和しリン脂質とグルコースを分離した。

3. この方法は正確で全操作は2時間で済む。この方法を人血清と皮下脂肪、豚臓器、人乳、牛乳に応用したが今後食品分析に応用したい。

#### A-14 血清及び組織のトリグリセリド 測定法の検討

実践女大家政 石沢 久

1. 種々の疾患で血清トリグリセリド値は変動しまた種々の新陳代謝疾患で肝のトリグリセリド値は変動し中毒その他の原因で脂肪肝がおこり飢餓は貯蔵脂肪を減少せしめる。故に血清と臓器のトリグリセリド測定は重要である。然るに従来トリセリド測定法は複雑である為日常の検査に使用する事は困難であった。われわれはトリグリセリド測定を簡易化する為 Sardesai and Manning [Clin Chem.14. 156(1968)] の測定法の改良を試みた。

2. 原法は血清及び組織の Folch 法による抽出液を Silicic Acid と Hyblo-Super Cel の等分混合吸着剤を充填したカラムで吸着法によりリン脂質を分離しけん化してメタ過沃度酸ソーダでグリセリンをフォルムアルデヒドに酸化せしめ酢酸アンモニア、氷酢で pH を6.0に調整した0.02%アセチルアセトン液でアセチルアセトン、フ